

メディア対抗ユーノスロードスター4時間耐久レース参戦記

各スポンサーの皆様
ありがとうございました♡



レース前、完全に仕上がった状態のOPT走り屋ロードスター。決まってるぞ。

レース前、スコラに乗り換える位
厚上。相手はあのカレラカップの半
度チャンプ、サーキットの90%の
実力と見られてた。

真鍮1'12.276のラップ
で見事3番グリッドを
ゲットした北澤ちゃんの
超ホットな走りだ。



オレが6年落ちの
マシン(FJ)で
ポールをゲットする
北澤だっ!



スタートは旧ル・マン式、スタン
ドからピット前に並んだマシン
に駆け込むツウワケ。

オレ達や~ 足だって速いせ!

さんせんと輝くセッケン "2"
オレ達、OPTIONが
No.1だ!

レース開始1時間後、
オレ達は当然トップ、
一方、OPT2は2位、
元祖の面目全失だぜ。



あ~あ
あいつのせいで
終わったヨ



数々の違反行為は全てミッシェー三島のせい、「どうかしてくれよ~」のピットクルー。

ユーノスロードスター4時間耐久レース正式結果

位	車番	車名(別称)	周回	所用時間	トップ差
1	1	スコラチャレンジ(スコラ)	183	4:07:31.404	
2	22	ティールポTRロードスター(ティールポ)	183	4:07:40.575	0'09.172
3	21	WPB.黒RO-ドスター(黒利プレイボーイ)	182	4:01:39.223	1Lap
4	23	REV RS アイザワロードスター(REV SPEED)	181	4:00:59.026	2Lap
5	15	マツダロードスター(マツダ広都)	181	4:01:08.220	2Lap
6	7	GOLDDOT ヨコハマロードスター(ゴールドカートップ)	180	4:00:59.290	3Lap
7	12	カートップアドバンロードスター(カートップ)	179	4:00:47.641	4Lap
8	10	LV SPORT ロードスター(ル・ボラン)	178	4:01:12.325	5Lap
9	14	OPT2 A'PEXロードスター(OPTION2)	177	4:00:41.755	6Lap
10	5	BMDラテック特製ROADスター(ベストモータリング)	177	4:00:54.592	6Lap
11	3	AUTO SPORTロードスター(オートスポーツ)	175	4:00:32.398	8Lap
12	6	スピードマインドロードスター(スピードマインド)	175	4:00:47.517	8Lap
13	2	OPTION2の黒RO-ドスター(OPTION)	175	4:01:29.274	8Lap
14	15	Car EXLEXICロードスター(Car EX)	174	4:00:54.283	9Lap
15	8	オートメカニックロードスター(オートメカニック)	173	4:00:39.199	10Lap
16	11	アルシンド ユノス(?)	173	4:01:18.556	10Lap
17	17	アドバンCSチキチキロードスター(カーセンサー)	173	4:01:49.194	10Lap
18	13	カー8ドライバーロードスター(カー8ドライバー)	171	4:01:33.132	12Lap
19	19	ユーノスロードスター(カーマガジン)	167	4:00:59.916	16Lap
20	20	driver EMJロードスター(ドライバー)	144	4:00:42.284	39Lap



速さは1番、ペナルティーも1番、
とにかく1番ってのは、いいことなのだ!?

~10月16日 夢の筑波サーキット~

苦勞してマシンを作り、ドロドロになったミッシェー三島とエタニティ宮川。どうにか生きてレース当日を迎えることができたこのふたりは、ダチの元FJ東北チャンプと共にJAF公認レースを闘った。すんげードラマチックな、サッカーの世界カップ予選、日本対イラク並みのレース運び? を報告するぜ。

10月16日、オレは万感の想いで筑波サーキットに立っていた。10月に入ってからというものの、このレースのために徹夜徹夜の日々。肉体が限界に達しかけていたレース前夜、オレの目の前は真っ暗になる。スピード違反で捕らえられたのだ。1年間ステアリングを握ることができなくなるかもしれない

い...いやそれだけじゃない、レースに果たして赤キップで出場することが出来るのか? もはや気力さえも尽き果てかけていた。今回の4時間耐久を闘うOPT1-ONのドライバーは3人、オレ、編集部のミッシェー三島、編集スタッフのエタニティ宮川、そして、オレ達のダチで元FJの東北シリースのチャンプ、北澤和則だ。北澤ちゃんはスゴいゾ、なんてったって6年落ちのマシンでポールを取った男、ハンパじゃないぜ。

JAF公認レース史上前代未聞?、赤キップ+Aライ提示という掟破りをゴリ押しし、オレ達の出場はなんとか認められた。こうなれば、こっちのもの。予選は任したぜい! というみんなの期待に応え、北澤ちゃんはやっぱりヤツてくれた。予選はトップからコンマ7秒落ちの1分12秒276で見事に3位。これなら上位入賞は

おろか、うまくやりや、優勝だって狙えるぜ。ヤツたネ♡ 決勝のスタートは旧ル・マン式、つまり予選順に並べられたピット側のマシンにスタンド側から走っていったり込むヤツだ。ここでもキッチリ決めたのは北澤ちゃん。うまく飛び出た4番、5番グリッドのヤツらに続き3番手をキープ。ここからがスゴい。あつという間に先行する2台をブチ抜きトップをゲットしてしまうのだ。

とりあえず頑張ってみました~



終わってみれば2時間終了後のトップから13位(20台中)。まあ、目立ったからいいか?

冷静さを欠いたオレに代わったエタニティ宮川は、ステディな走りであつてうまくフォローしてくれた。しかし、またもやペナルティー。再びマシンに乗り込んだオレの休憩時間が短かったのだ。ウソだろ!。それにつけて今度は燃費を見つつ冷静に走ったオレが、ピットインで隣のピットに頭半分オーバーラン、そして痛恨のバックギヤ、もうペナルティーの山...。結局は20台中13位。でも速さじゃ一番だったよ、オレ達が...。(ミッシェー三島)

「えーっ、聞いてないよ!」状態であつたが、特別規則書が全部そろっているかどうか確認しなかつたのは、確かにこちらのミス。とにかく、一刻も早くドライバーを交代しなくては...。2番手はオレ、ミッシェー三島だ。緊張に拍車をかける動揺を押さえつつ、チェインジ。と、そこに北澤ちゃん、クラッチが大分切れにくくなって、ギヤが入りづらいかもしれない。どっひや、オレはますます舞い上がった。そしていきなりコーナー手前でシフトミス。そこでもうブツン、夜の闇の中スモールライトのみで走るOPT号に対して出されたオレンジポールは、オレのアウト・オブ・眼中だったのだ。